

うらら 令和4(2022)年度事業報告

介護相談部

| 事業部門 | 年度活動計画 | 目標値 | |
|----------------------------------|---|-----|--|
| <p>地域包括支援センター (あんしんセンター)</p> | <p>基本方針 (北区委託業務仕様に基づく記載)</p> <p>①感染症や災害への対応力強化</p> <p>②地域の特性を反映した施策の推進</p> <p>③認知症の人や家族の視点を重視した施策の展開</p> | | |
| <p>みずべの苑 地域包括支援センター</p> | <p>① 感染症や災害への対応力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止策を継続し、地域の高齢者、職員等感染拡大防止を図る ・水災害、大地震に備えた法人のBCPに基づく訓練の実施。備蓄品の確保。 ・北区大規模水害避難行動支援計画策定に係る検討委員会への参加 <p>② 地域の特色を反映した施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもり、フレイル予防のために集いの場の提供、サロンの開催を行う。 ・公園を利用した体操活動の継続、自主化への働きかけを行う。 <p>③認知症の人や家族の視点を重視した施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、本人、家族の支援を行う。 ・新しい認知症カフェの立ち上げ支援、共催 | | <ul style="list-style-type: none"> ・感染者発生時のマニュアルに沿った対応の実施(随時) →利用者、職員発生時に実施 ・避難場所の確認を職員で行う(年度内全員)→8名でそれぞれ避難場所の確認に行った ・備蓄品の購入と準備(年度内) →未実施 ・委員会への参加(随時) →4月～12月まで全8回出席 ・井戸端サロン2回/月→名称をレク茶話サロン、サロンレインボーに変更し実施 ・体操サロン2回/月 ・ステイホームな会1回/月 ・元気はつらつサロン1回/月 ・志茂1丁目～5丁目(月～金曜日)夏季除く(あおぞら体操)→上記すべて実施1か所自主化、年明けよりボランティア入る ※東京都社会福祉協議会アクティブ福祉で発表し3位入賞 ・志茂ジェネ協議会1回/2か月 →3回/年間実施 ・おむすびカフェ1回/月 ・家族介護者教室1回/年 ・サポーター養成講座2回/年 ・事業所向けサポーター養成講座1回/年 ・ステップアップ講座1回/年 →全て実施 ・圏域病院1か所/年度内 |

| | | |
|--------------------------|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期集中支援事業の実施 ・ オレンジガーデニングプロジェクトへの参加(認知症普及啓発活動) | <p>赤羽中央総合 HP、コロナの影響で延期 R5～予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 事例実施/年 実施 ・ コロナ禍でも出来る当事者を交えた活動の開始(協力団体への種の送付(4月より順次、9月 SNS での発信)全国版との共有。次年度に向けての検討を年度末に実施)→志茂 1 丁目～5 丁目町会長初め約 50 人(事業所含む)に配布し、9 月には開花状況など SNS で発信した |
| <p>赤羽 地域包括支援センター</p> | <p>① 感染症や災害への対応力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時の業務継続体制の整備 ・ 災害発生時等職員間の情報共有体制の構築 ・ 災害発生時の地域との連携体制の整備 ・ コロナ等感染症対策マニュアルの随時見直し <p>② 地域の特色を反映した施策の推進+</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の連携企業との関係性の継続・発展 ・ CM やサービス事業所との連携強化 ・ つながり続けるサロンの体制整備・強化 ・ 学生(ボランティア)を取り込んだ地域活動の継続・強化 (東洋大学) ・ 既存の地域の拠点となる活動の充足と発展 ・ 地域開拓 | <p>利用者(予防プラン・相談ケース)情報の紙データでの保管と定期的な情報の更新方法の確立 →印刷方法等確定</p> <p>定期的な印刷は未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害伝言ダイヤル・チャットワークの活用のルール化(職員) <p>→ルールの職員間で共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災活動をテーマとした協議体の開催(円卓会議へのはたらきかけ) <p>→円卓会議の実施なかったため、未実施</p> <p>*災害時の対応として、BCP 作成に着手開始 令和 5 年度中に完成予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K+PLUS <p>ふれあいサロンの新規立ち上げ →月 1 回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラクティブ <p>→健康サロンへの協力 年 1 回 →ダイエー前で測定会共同実施 年 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅・サービス事業所との連携 <p>→かいごの無料相談の共同開催 月 1 回 ケアマネサロンの共同開催</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | <p>③ 認知症の人や家族の視点を重視した施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の方やご家族とつながりを感じていただける体制の強化 ・ 認知症関連事業や参加者の拡大等を目的とした地域の居宅・サービス事業所との連携強化 ・ 世代を超えた認知症サポーターの養成(小・中学校・PTAへのアプローチ) | <p>→年1回事例検討会として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームワークサロン (既存1 新規開設1) →既存 月2回定期実施 新規開設はできなかったが、デイサービスベストリハを会場に体操希望者向けに年2回単発で開催 ・ しゅりる 月1回 学生との連携強化 保育園との活動継続 →東洋大学 渡辺ゼミと連携 正光寺保育園との活動 5回 ・ 茶お 月2回 参加者と主体者の隔たりのない活動の実現 →活動内容を当日みんなで相談しながら実施 お茶の提供や片付けなどできる人には手伝ってもらっている ・ にこカフェ (月1回) 感染対策を徹底した体制整備 欠席者へのフォロー体制整備 →感染対策として、会場設営の工夫(パーテーションや机の配置) 欠席者へのはがき送付継続 →新規オレンジカフェ立ち上げ 8月から月1回実施 ・ つどいカフェ (月1回) 感染対策を徹底した体制整備 専門職配置の検討 →感染対策をしながらの継続開催 臨床心理士派遣 2回/年 ・ 地域との連携 各事業所への周知協力依頼 運営サポートの協力依頼 →美容室(KPLUS)とのサロン 寺(正光寺)でのサロン・オレンジカフェ デイサービス(ベストリハ赤 |
|--|--|---|

| | | |
|---------------------------|---|---|
| | | <p>羽)でのサロン・講師派遣等 有料ホーム(グランダ赤羽)でのサロン会場借り 高齢者向けスポーツクラブ(ラクティブ)からの講師派遣・協働での測定会実施 飲食店(めぐり)でのサロンの会場借り 居宅支援事業所(赤羽圏域内8か所)のサロン運営協力 ・認知症サポーター養成講座 中学生向け1回/年 開催依頼(小学校3校・赤羽岩淵中学校PTA) ・中学生ボランティアの呼びかけ</p> |
| <p>十条 地域包括支援センター</p> | <p>① 感染症や災害への対応力強化 ・地域住民との連携</p> <p>・発災時の職員体制の確立</p> <p>・防災・減災・感染予防等の技術、知識を深める。</p> <p>② 地域の特色を反映した施策の推進 ・地域住民の多様なニーズを生かしたサロンの開催と地域住民への情報提供や住民同士のつながりを作る、深める。</p> | <p>・十条地区防災訓練の参加→コロナ禍で中止 ・災害時要援護者名簿の保管、担当している要支援認定者や個別ケースの安否確認ができるよう書類完備していく。→整備中 ・BCPに基づき事業継続できる勤務形態を整える。→コンサルテーションを受け新たなBCPを作成中。 ・職員向け防災等に対する研修や実地訓練を行う。1回/年→未達 ・備蓄品の確保と整備→未達</p> <p>・王子第5小学校との連携→評議員として会議に参加 ・映画会サロン16回/年実施→人気のため12月より2部制 ・おさんぽサロン12回/年実施 ・おはりこ・手芸サロン12回/年実施→アベノマスク布巾 ・どらどら24回/年実施 ・健康教室6回/年実施</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーとの関係構築 <p>③ 認知症や家族の視点を重視した施策展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの遂行により新たな出合いや課題発見 ・認知症地域支援推進員によるネットワーク作り（地域住民、サポーター、医療機関、介護従事者、町会等） ・こんちゃんサポーターの育成 ・認知症普及啓発 ・認知症の早期発見、早期対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア連絡会 1 回/年実施 ※年度途中よりフォローアップ事業が導入され健康長寿医療センター研究所の伴走支援を受けながら、アンケート結果の説明や食事会を企画実施。 ・勉強会・交流会を行う 1 回/年→実施 ・ケアプランや介護保険制度他について情報共有や助言（随時） ・地域ケア個別会議 2 回/年→実施（1 回は介護予防、1 回は居宅プラン） <p>※R5 年 3 月北区地域包括ケア推進計画のためのアンケート調査結果報告書 高齢者あんしんセンターの認知度は十条が上位に挙がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jサロン 12 回/年実施 ・きたい～なまちなか 12 回/年実施 ・家族の集い十条 12 回/年実施 ・サポート店、医療機関、介護事行所等と顔合わせ 1 回/年→コロナ禍で未達 ・交流会 1 回/年→実施 ・サポーター養成講座 一般 2 回/年→実施 事業所 1 回/年→実施 ・ステップアップ講座 1 回/年→体験型ステップアップ講座を実施 ・初期集中支援事業 2 件/年→実施 |
|--|--|--|